

資 料 提 供
平成29年11月27日
里山振興室 小中、白石
内線 4644
外線 (076) 225-1648

ブラジルの政府職員及び世界農業遺産申請予定地代表者に対する
世界農業遺産研修の実施について

本県は、平成26年度から、世界農業遺産の価値のさらなる向上に貢献するため、認定を目指す開発途上国から毎年研修生を受け入れ、世界農業遺産に係る研修を実施しています。今年度新たに「いしかわ世界農業遺産国際貢献プログラム」を創設し、その実施にあたって、去る11月20日に関係機関による覚書を締結し、連携して質の高い研修を提供していくことを確認しました。

今年度は、国連食糧農業機関（FAO）の協力のもと、隣県の世界農業遺産認定地である岐阜県とも連携し、ブラジルから政府職及び世界農業遺産申請予定地の代表者を受け入れ、下記のとおり世界農業遺産に係る研修の一部を本県において実施します。

記

- 1 訪問者（ブラジル人7名）
 - (1) ブラジル政府職員3名
 - (2) ブラジル国内世界農業遺産認定候補地の代表者4名

- 2 研修日程 11月27日（月）～12月1日（金）
(うち県内：11月29日（水）～11月30日（木）)
(県内スケジュールは別紙のとおり)

<研修スケジュール（県内）>

【11月29日（水）】

- ・羽咋市の農業の6次産業化の取組（講義、現地視察）

場所：羽咋市役所、道の駅のと千里浜（羽咋市 千里浜町）

時間：15：45～17：00

【11月30日（木）】

- ・農家民宿群「春蘭の里」の取組（講義）

場所：宮地交流宿泊所こぶし（能登町 宮地）

時間：9：15～10：30

- ・世界農業遺産「能登の里山里海」アクションプランの実施状況（講義）

場所：奥能登行政センター生涯学習センター講義室A（能登空港ターミナルビル4階）

時間：11：00～12：00

- ・課題演習（研修生による世界農業遺産認定候補地のプレゼンテーション及びそれらに対する
覚書締結機関（FAO、OUIK、金沢大学、JICA、石川県立大学）の有識
者によるアドバイスやノウハウの提供）

場所：奥能登行政センター生涯学習センター講義室A（能登空港ターミナルビル4階）

時間：13：00～16：30

【参 考】世界農業遺産認定を目指す開発途上国の研修生受入実績

平成26年度 平成26年10月28日～11月1日

ブータン農林省職員1名

平成27年度 平成27年7月5日～10日

カンボジア、インドネシア、ベトナム政府職員 計3名

平成28年度 平成28年11月13日～18日

ラオス政府職員2名、ミャンマー政府職員1名 計3名